

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アートチャイルドケアSEDスクール京都西院		
○保護者評価実施期間	2024年10月16日		～ 2024年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 38
○従業者評価実施期間	2024年10月16日		～ 2024年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別療育でお子さんの思いや活動のペース、意欲が沸くタイミングなどそれぞれの個性に合わせ、その子らしさを大事にしながら、楽しんで活動する中で必要な力を身に付けていける支援を行っている。	・支援内容やお子さんの様子について、普段から職員同士で話し合い、また保護者の方とも日々お子さんについて思いを共有し、それぞれの視点を交えながらプログラム立案や個別支援計画作成を行っている。	・人員を確保することで、さらに話し合う時間や研修を受講する時間、また新たな取り組みを進めていく時間を確保し、さらに療育の質をあげていく。
2	・毎回の15分の振り返りで保護者とお話する時間をとり、各ご家庭に寄り添いながら相談対応などの支援を行っている。必要に応じて30分以上の相談時間を確保して対応したり、グループ療育を通して保護者同士の交流を行ったりしている。	・振り返り時に十分な相談対応が難しい時も、相談内容を他職員に共有し、別の視点からの意見や知識なども含め検討した上で改めてお話しするなど、全員で考えて対応していくようにしている。	・保護者支援について改めて周知し、いつでも相談しやすい雰囲気づくりをしながら、各ご家庭に寄り添い、一緒にお子さんについて考えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・人員体制が整わない期間が長く、利用者様の追加や振替の対応、新たに入所を希望される方々への対応の難しさ、職員の休みにくさなどにつながっている。	・追加や振替はキャンセル待ちをしていただいたり、固定枠でなくスポット利用で入所していただいたり、職員の負担軽減、業務分担の変更など工夫を行ってたりしているものの、人員不足が長期化している。	・現在行っている工夫を続けながら、療育の質を保って無理なく運営できるようにしつつ、積極的な採用活動を行って人員確保に努め、希望される方に療育の機会を提供できるようにしていく。
2	・きょうだい支援については取り組みが部分的にとどまっている。	・保護者より要望があればきょうだいについての相談に応じているが、そういった相談もできることについて周知が徹底されていない。	・きょうだいも含めた家族支援について、改めて周知していく。